

Conference Report

学界情報 国際会議レポート

The 34th Annual IEEE Applied Power Electronics Conference and Exposition (APEC 2019) March 17-21, 2019, Anaheim Convention Center, Anaheim, California, USA

IEEE Industry Applications Society (IAS), IEEE Power Electronics Society (PELS), Power Sources Manufacturers Association (PSMA)が共催するパワーエレクトロニクス応用技術に関する国際会議・展示会である第34回 IEEE Applied Power Electronics Conference and Exposition (APEC 2019)が2019年3月17日-21日にかけて、アメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイムのコンベンションセンター(図1)で開催された。APECは1986年から始まり、今年で34回目となる北米最大規模のパワーエレクトロニクス応用技術に関するイベントであり、アナハイムでの開催は5回目である。APECはパワーエレクトロニクス応用技術の国際会議としての位置付けだけではなく、企業主体の発表セッションや企業展示(図2)が併設されていることが大きな特徴である。そのため、世界各国の電力機器、半導体デバイス、受動デバイスや受動デバイスを構成する電線や磁性材料、測定機器などの多岐に渡ったパワーエレクトロニクス応用技術に関する最先端技術・最新商品が紹介されている。

APEC2019の開催概要を述べる。APECのセッションはProfessional Education Seminars(17-18日)、Opening Plenary Session(18日)、企業発表であるIndustry Sessions(19-21日)やExhibitor Seminars(19-20日)、オーラル発表であるTechnical Sessions(19-21日)、ポスター発表であるDialogue Sessions(21日)、聴講者参加型であるRAP Sessions(19日)、会議の懇親会であるSocial Event(20日)があった。どのセッションも白熱していたが、Opening Plenary Sessionにおいても熱い議論が繰り広げられていたことは印象深かった。企業発表のExhibitor Seminarsは複数会場で実施されていたが、どの会場も立ち見が出るほど盛況であった。Social Event(図3)ではキッチンカーからの料理の他にも、似顔絵ブースやドローン体験、VR体験などが実施されており、夕方から夜遅くまで非常に盛り上がっていた。

数多くの興味深いセッションと盛大な企業展示が実施されているので、どの会場に向かうか迷うところである。どの日程や時間(帯)に、どんな内容(概要も含む)のセッションや発表が、どこで実施されているかを知りたい参加者のために、「APEC」という無料アプリがある。会場でこのアプリをダウンロードすると、上記の内容が一目で分かるとともに、自分が興味のあるセッションや発表をファボ(お気に入り)するとアプリ内のスケジュール帳に登録され、開始前になるとリマインドの連絡が届くという優れものである。筆者もこのアプリを駆使して、APEC2019をあまずとくなく堪能し、非常に充実した時間を過ごした。



図1 会場の Anaheim Convention Center



図2 Exhibition(企業展示)の様子



図3 Social Eventの様子

次回のAPEC2020は、ルイジアナ州ニューオーリンズのErnest N. Morial Convention Centerで2020年3月15日～19日に開催される予定である。今回の開催が3月下旬(卒業式などの式典関係や年度末の多忙な時期)ということもあり、日本の大学関係者の参加が少ないように感じられた。同時期ではあるが、ぜひ、次回のAPEC2020には、日本国内で活躍する研究者や学生さんの参加者が増えることを期待したい。

南 政孝(神戸市立工業高等専門学校)
(令和元年5月7日受付)